



2025年度 NECプロボノイニシアティブ活動実績レポート



NECプロボノイニシアティブ 概要

社員の専門スキルによる社会課題解決や、社員一人ひとりの社会課題への理解や感度を高め、社会価値創造を実現する取り組み

- **目的：**
社員の専門スキルによる社会課題解決と、社員の社会課題への理解向上を実現
- **支援内容：**
 - デジタル：AI・デジタル活用支援
 - 広報：HP・動画リニューアル
 - 業務改善：CRM導入コンサルティング、マニュアル・営業ツール整備
 - 戦略：事業計画・資金調達計画の策定
 - 分析：マーケティング調査
 - 教育：探究学習、STEAM教育
- **開始：2010年（国内企業初）**
- **累計参加社員数：2,634名**



NECプロボノイニシアティブ 推進体制

「NECプロボノ倶楽部」（社員コミュニティ）によるプロジェクト運営を基盤に、
多様なステークホルダーとの対話・共創を通じてプロボノ活動を推進

NECプロボノ倶楽部（社員コミュニティ）

2020年設立、社員有志約**900名**から構成

役割

- プロジェクト組成
- プロジェクトチーム編成
- プロジェクト運営

NEC × NECプロボノ倶楽部
両輪で推進

NEC

役割

- 全体マネジメント
- 活動制度運営
- 社内への募集告知
- 社内外への情報発信
- 評価

支援先団体

- NPO・NGO・社会起業家
- 国連機関、自治体、社会福祉協議会
- 大学・教育機関 他

NECプロボノイニシアティブ 活動実績（2025年度）

社員の専門スキルを活用し、多様なステークホルダーとの対話・共創を通じて、
社会課題の解決に貢献。参加社員 **621名**、受益者 **6,029名**。

自治体との連携

NEC事業所エリアを中心に、自治体等と
連携して地域課題に取り組む

・ 川崎市

- 「かわさきプロボノサミット」の企画・運営
- 「かわさきSDGsパートナーまつり」の企画・運営

・ 東京都・区

- 港区三田図書館 コミュニティ・街づくりを学ぶセミナー・勉強会「芝浜クルーズ」の企画・運営支援
- 東京ボランティア・市民活動センター主催「企業・社員 & 非営利団体の協働セミナー（第5回）」の企画・運営支援、および「災害ボランティアセミナー」の共催

・ 福島県

- 福島県との包括連携協定に基づき、(株)Shift 子育て世帯支援「fureru」プロジェクトの企画支援

社会起業家・NPO等との連携

「NEC社会起業塾」卒塾生やNPO等を支援

・ 社会起業家

- (株)Estlaughtive 音楽を入り口に自分の感覚に
もう一度気づき直す事業戦略策定支援
(アプリレビュー・改善、市場調査、事業戦略)
- (一社)予防メンタルヘルス機構 メンタルヘルス不調
の予防に取り組む事業戦略策定支援
- (株)BANSO-CO メンタルケアに取り組む事業戦略
策定支援（営業・広報）

・ NPO等

- NPO法人みなと子ども食堂連携 STEAM教育支援
子どもプログラミング教室実施
- (公社)日本フィランソロピー協会・日本更生保護協会
法務省更生保護セミナーの動画配信・編集支援

大学・教育機関との連携

教育機関の課題解決型学習を支援

- 早稲田キャリア研究会 生成AIを活用した課題解決型
ワークショップの企画・運営支援
- 神奈川県立平塚中等教育学校 探究学習プログラム
「じぶんラボ」の企画支援

企業との連携

多様な企業との連携を通じて、社会課題解決を加速

- 旭化成(株)と協働 がん患者と家族を支援する(株)MiaLuce
の事業戦略策定支援
- LINEヤフー等が運営する能登復興プロボノ支援プラットフォーム「プ
ロボ能登」に参画、(一社)のと復興ラボ 能登の古材を未来へ活か
す「古材レスキュー」管理システムの構築支援

NECプロボノイニシアティブ 参加者アンケート結果①

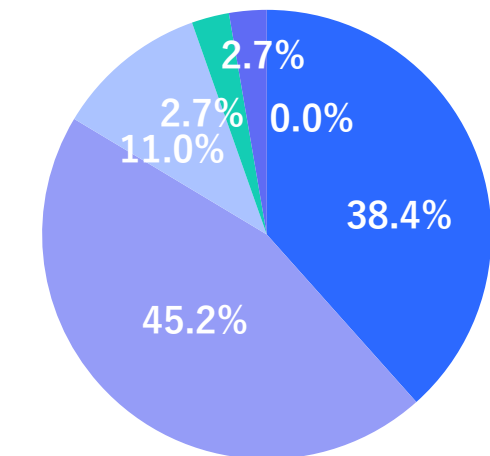
プロボノ活動を通じて、社会課題への理解・関心が高まり〈83.6%〉、意識変化〈74.0%〉へとつながる好循環が生まれている



社会課題に関する学び

- プロボノは、社会課題を実践的に学ぶ機会として機能
- 実務とは異なる経験が、新たな視点と理解の深化につながっている

プロボノ活動を通じて、社会や地域課題に対して気付きや学びはありましたか？



83.6%

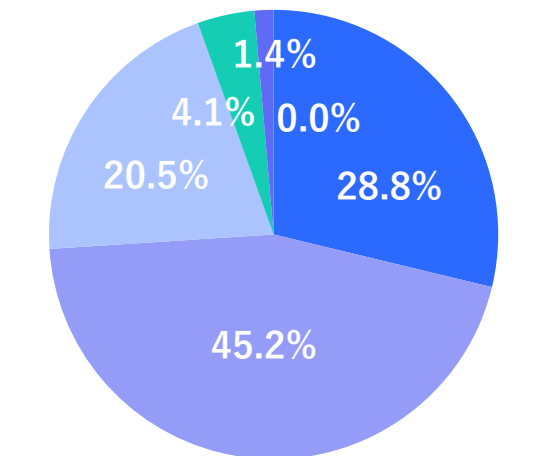
感度向上
(学びの実感)

実践を通じた学びが、理解を深化させている

社会課題意識の変化

- 社会との接点を通じて、社会課題に対する意識が変化
- 課題を「自分ごと」として捉える姿勢への変化

プロボノ活動を通じて、社会や地域課題に対して意識は変わりましたか？



74.0%

意識変容

社会との接点が、意識変化を生み出している

NECプロボノイニシアティブ 参加者アンケート結果②

プロボノ活動は、社員の成長と挑戦を促し、多様なステークホルダーとの対話・共創を通じて、社会課題への理解や共創意識を高めている



人づくり

- 起業家の方のビジョンの高さや熱量に刺激を受け、**自分も挑戦してみようと思った。**
- **社会に対する貢献度をもっと上げたい**と同時に、**自分のスキルをもっと上げていきたい**と感じた。
- 地域や社会への貢献に興味はあったが、実際に体験して**一步踏み出すことができた。**
- **自分の業務での経験が、課題解決に貢献できる**ことが分かった。
- 本業の職場では経験できない役割を挑戦し成功体験を積むことで、その経験と自信を**本業に良い影響として持ち帰ることができると感じた。**

**越境経験が、
自律的な成長や新たな挑戦を促している**

社会との接点づくり

- 社会起業家や地域団体の活動に触れ、**社会課題解決への新たな視点を**得ることができた。
- 内側に目が向きがちだったが、**社外の動向や社会から求められているサービスを知る機会**となった。
- 地域住民やNPO、自治体職員とのつながりの中に、**企業の一員として関われたことに大きな意義を感じた。**
- 普段会うことのない方々と交流ができ、**ネットワークや人脈が広がった。**
- 他企業とのプロボノで、多様な視点から活動する皆さんに**良い刺激を受けた。**

**多様な社会との接点が、
社会課題への理解と共創意識を高めている**

2025年度プロボノ活動事例

- 【事例1】 福島県と連携－地域の子育て世帯を支援するfureruプロジェクト企画運営支援
- 【事例2】 川崎市・富士通・専修大学等と協働－かわさきプロボノサミット初開催
- 【事例3】 早稲田キャリア研究会と協働－生成AI活用した社会課題解決ワークショップ支援
- 【事例4】 みなと子ども食堂と連携－STEAM教育支援 子どもプログラミング教室開催
- 【事例5】 音楽を活用したセルフケアサービスを提供する社会起業家 Estlaughtiveの事業戦略策定支援

【事例1】福島県と連携－地域の子育て世帯を支援するfureruプロジェクト企画運営支援

2024年2月に福島県と締結した包括連携協定（DX推進や県産品振興、地域活性化を目的）のもと、地域・企業・行政が連携し、福島県の子育て世帯を支援する「fureru」プロジェクトの企画運営およびPRを支援

支援先団体概要

＼福島の可能性を価値に変え、繋げる。／



株式会社Shift

福島県田村市船引町石森字館108

<https://shift-inc.io/>

(株)Shift（シフト）は、2018年4月に福島県田村市で設立された、地域の企画・PRやまちづくりを行う総合広告マーケティング企業です。田村市を中心に、デザイン力やクリエイティブの力を活用した地域価値の創出や情報発信に取り組んでいます。

< 主な活動内容 >

- ・広告・プロモーション・コンテンツ企画設計・制作事業
- ・クリエイティブ制作事業（デザイン・WEB・動画等）
- ・ブランディング・組織育成設計・支援
- ・ふるさと納税運営代行事業
- ・地域・地域教育活性化支援

支援先団体の課題

Shiftでは、ふくしまの子育て情報Webメディア「fureru（ふれる）」の立ち上げにあたり、次の課題の対応が求められていた。

1. メディアの位置付け整理とコンテンツ具体化を推進するための企画・マネジメント機能の確立
2. ユーザー（子育て世帯）からの課題抽出
3. 地域・企業・メディアを巻き込んだ認知拡大

支援内容

- ・活動方針の具体化・優先順位付け・計画策定
- ・子育て世帯対象の座談会の企画運営（課題収集）
- ・fureru認知向上イベント「ふふふフェス」の企画運営
- ・Webコンテンツ制作 他

支援期間

- ・支援期間：2025年1月～2025年8月

参加人数

- ・参加者：300名以上
- ・支援メンバー：NECグループ社員22名

【事例1】福島県と連携－地域の子育て世帯を支援するfureruプロジェクト企画運営支援

支援メンバーの声（NEC）

- 抽象度の高く難易度の高いプロジェクトに、アジャイルに試行錯誤しながら取り組む実践経験ができた。
- 多様な関係者と向き合う中で、合意形成やマネジメント力を向上できた。
- Shift社・福島県と本音で議論できる信頼関係を構築し、今後の共創の可能性を実感した。今後も一緒に取り組んでいきたい。

支援先団体の声（Shift・福島県）

- fureruのグランドオープンを実現し、地域への価値提供および高い認知度向上にもつながった（Shift）
- NECと強い信頼関係を築き、「一緒に創り上げている」という実感あるコンテンツづくり、イベントでは内容・集客とも期待を上回る成果を出すことができた（Shift）
- 企業・地域・行政の連携による好循環モデルを構築できた（福島県）
- NECプロボノメンバーとの関係構築による、継続的な交流基盤を形成できた（福島県）

関連リンク

- [福島との絆、福島で報告 広がるNECのプロボノ活動に福島県「続けてくれて感謝」: NEC Stories | NEC](#)
- [地域と親子をつなぐ、新しい挑戦 — NECのプロボノが福島で描いた未来: 記事紹介 | NEC](#)



【事例2】川崎市・富士通・専修大学等と協働－かわさきプロボノサミット初開催

川崎市・富士通・専修大学等と協働し、川崎市でのプロボノ活動を通じた地域課題の解決や地域共創に取り組む意識を高めるオンラインイベント「かわさきプロボノサミット2025」を初開催

協働団体概要



川崎市

川崎市

神奈川県川崎市

<https://www.city.kawasaki.jp/250/page/0000140867.html>

川崎市は、「川崎プロボノ部」をはじめ、市民活動支援や産官学の連携を推進。地域貢献やボランティア活動のきっかけを探す方と、運営課題を抱える団体をつなぐ取り組みを進めています。



富士通プロボノ部（富士通株式会社）

神奈川県川崎市

<https://global.fujitsu/ja-jp>

富士通プロボノ部は、富士通の社員が業務スキルを生かして社会課題解決に取り組むプロボノコミュニティ。NPOや市民団体との協働を通じ、地域に新たな価値を生み出す活動を展開しています。



専修大学

神奈川県川崎市（生田キャンパス）

<https://www.senshu-u.ac.jp/>

背景

川崎市内でプロボノを通じて社会課題解決に取り組むNECプロボノ倶楽部、富士通プロボノ部、川崎プロボノ部および川崎市に所在する専修大学やソーシャルセクター等が一堂に会し、各々の視点からプロボノの価値を発表。あわせて、今後の発展・拡大にむけた課題や可能性について、登壇者と視聴者がともに考えるオンラインイベントを企画。

実施内容

1. 川崎市の紹介：川崎市とは／川崎市のまちづくりとプロボノ
2. 基調講演：国際社会経済研究所(IISE)理事長 藤沢久美氏による講演
テーマ：「プロボノによるインパクト」
3. パネルディスカッション：
テーマ：「プロボノの価値、今後の課題と展望」
パネリスト：NECプロボノ倶楽部、富士通プロボノ部、川崎プロボノ部、専修大学、川崎市看護協会
モデレーター：国際社会経済研究所(IISE)理事長 藤沢久美氏

実施期間

- 実施期間：2025年9月1日

参加人数

- 参加者：200名
- 支援メンバー：NECグループ社員3名

【事例2】川崎市・富士通・専修大学等と協働－かわさきプロボノサミット初開催

参加者の声

- 川崎市の取り組みが具体的で分かりやすく、**プロボノの魅力や可能性を身近に感じられた。**
- 多様な立場の参加者の意見を通じて**理解が深まり、学びの多い機会となった。**
- 行政・企業・市民の連携による実践が印象的で、**今後の展開への期待が高まった。**
- 今後は、具体的な事例紹介や参加者同士の交流機会の拡充など、**さらなる広がりを期待したい。**

関連リンク

- [プロボノ発展@川崎、リードするのはNEC ライバルも巻き込み産官学サミット開催: NEC Stories | NEC](#)
- [NEC、『かわさきプロボノサミット2025』を初開催 | 日本電気株式会社のプレスリリース](#)



【事例3】早稲田キャリア研究会と協働－生成AI活用した社会課題解決ワークショップ支援

早稲田大学公認学生団体「早稲田キャリア研究会」と協働し、大学生向けに生成AIを活用した社会課題解決ワークショップの企画運営支援

支援先団体概要



早稲田キャリア研究会

東京都

<https://www.waseda-career-society-wcs.com/>

早稲田キャリア研究会は、就職活動やキャリア形成に特化した早稲田大学公認の学生団体です。学生と社会の接点を広げ、キャリアの選択肢を増やすことを目的に、勉強会や企業と連携したイベントの企画・運営を行っています。

< 主な活動内容 >

- ・学生同士による勉強会形式の通常講座
- ・企業と共同で実施するワークショップ形式の講座
- ・企業連携によるワークショップや交流会などの外部イベント
- ・会員同士の親睦を深める内部イベント

支援先団体の課題

早稲田キャリア研究会では、学生が抱える以下のニーズに答える機会（ワークショップ）を実現したいと考えていました。

- ・ 社会課題を自分ごととして捉えたい
- ・ 実践的なプロジェクト経験を積みたい
- ・ 社会人から継続的なフィードバックを受けたい
- ・ 実社会で通用するスキルを身に付けたい

支援内容

- ・ 生成AIを活用した社会課題解決のプロジェクト型学習ワークショップの企画支援
- ・ ワークショップの運営支援（学生の主体的な学びを促すため、意見の引き出し、意見の記録、時間管理、生成AI利用の支援等）

支援期間

- ・ 支援期間：2025年4月～2025年8月

参加人数

- ・ 参加者：大学生22名
- ・ 支援メンバー：NECグループ社員22名

【事例3】早稲田キャリア研究会と協働－生成AI活用した社会課題解決ワークショップ支援

支援メンバーの声（NEC）

- 学生の意見や考え方を直接聞くことが出来、**本業の参考となった。**
- **学生の社会貢献の想いを理解できた。**
- 学生は生成AIを使いこなし、柔軟な発想が多くあり、**自分自身も刺激をうけた。**

支援先団体の声（大学生）

- AIの活用だけでなく、ディスカッションとの組み合わせにより、**思考力とのバランスを学ぶことができ、とても楽しかった。**
- 4時間半の長時間にもかかわらず時間が足りないと感じるほど、**非常に充実した時間を過ごすことができた。**
- ワークショップを通じて、**NECはIT企業にとどまらず、社会課題にコトベースで取り組む企業であると理解した。**

関連リンク

- [将来にワクワクしよう！早稲田キャリア研究会と協働「社会課題解決ワークショップ」実施：記事紹介 | NEC](#)
- [産学連携で未来を拓く－早稲田キャリア研究会との課題解決型ワークショップを通じた人材育成と社会価値創造：記事紹介 | NEC](#)



【事例4】みなと子ども食堂と連携－STEAM教育支援 子どもプログラミング教室開催

東京都港区のNPO法人「みなと子ども食堂」と連携し、問題解決の力を育むSTEAM教育支援として、小学生向けプログラミング教室を実施

支援先団体概要



非営利活動法人みなと子ども食堂

東京都港区

<https://minatokodomoshokudo.org/>

NPO法人みなと子ども食堂は、港区初の子供食堂です。生活に困窮する家庭の子供たちに、食事や学習指導、居場所を提供し、子供たちの豊かで充実した生活と社会づくりに寄与することを目的とし、2016年に設立。子供たちのための「居場所」づくりに取り組んでいる。

< 主な活動内容 >

- ・みんなの食堂（食事の提供）
- ・学習支援
- ・フードパントリー（食料品の配布）

背景

NECは2020年2月、港区が主催する「港区子ども食堂ネットワーク」に加入。2024年4月には、みなと子ども食堂他と連携し、フードロス削減に取り組む「eCo食プロジェクト」を実施など、子ども食堂への継続的な支援を推進。さらに、同団体が実施する学習支援事業の一つとして、子ども食堂利用の小学生を対象に、STEAM教育としてのプログラミング教室を2024年より実施。

実施内容

NECグループ社員が講師となり、教育版Minecraft（マイクラフト）を活用し、子どもたちが自らのアイデアをデジタル世界に反映させる体験を通じて、未来の社会との接点を構築する。

支援期間

- ・ 支援期間：2025年10月～2026年3月（毎月1回）
- ・ 場所：みなと子ども食堂学習会会場（港区）

参加人数

- ・ 参加者：小学4～6年生 6名
- ・ 支援メンバー：NECグループ社員11名

【事例4】みなと子ども食堂と連携－STEAM教育支援 子どもプログラミング教室開催

支援メンバーの声（NEC）

- 今回の活動を通じて、**社会の課題や支援の重要性を理解することができた。**
- 参加してくれた児童が、楽しそうに講座を進めていたのが印象的だった。学びながら笑顔になれる場を提供できたことが**嬉しかった。**
- **自分のスキルを社会に活かせる実感を得ました。**

参加者の声（小学生）

- 難しかったけれど**楽しかった。**
- 分かりやすかった。**またやりたい。**
- 今日学べたことを他にも活かしていきたい。

関連リンク

- [NEC、みなと子ども食堂と連携し、「デジタル月間」にプログラミング教室を開始 | 日本電気株式会社のプレスリリース](#)
- [誰一人取り残さない未来へ ――NECとみなと子ども食堂が連携し、プログラミング教室を開催：記事紹介 | NEC](#)
- [子ども食堂でプログラミング教室 NECグループで進める「誰一人取り残されない」デジタル化: NEC Stories | NEC](#)



【事例5】音楽を活用したセルフケアサービスを提供する社会起業家 Estlaughtiveの事業戦略策定支援

社会起業家Estlaughtive（NEC社会起業塾2024年卒塾生）が開発・運営する、音楽を入り口に自分の感覚にもう一度気づき直すアプリ「soundefine」の事業戦略策定を支援

支援先団体概要



株式会社 Estlaughtive

東京都中野区

<https://remackerel.online/>

(株)Estlaughtive（エストラフティヴ）は、2022年8月に設立された、音楽を入り口に自分の感覚にもう一度気づき直すアプリ「soundefine（サウンディファイン）」を開発・運営するスタートアップです。NEC社会起業塾2024年卒塾生。

< 主な活動内容 >

音楽を活用したセルフケアサービス「soundefine」の開発・運営

支援先団体の課題

Estlaughtiveは、開発アプリ「Soundefine」の事業展開において以下の課題を抱えていました。

- 必要な時に必要な音楽にたどり着けることの価値はわかってきたが、誰に・どんなタイミングに価値が発揮されるのか
- サービスの価値をどのように伝えるか
- メンタルケアへの抵抗感をどう乗り越えるか

支援内容

- アプリの戦略策定
- アプリ効果検証（NEC社内でのアプリモニター152名・アンケート172名実施によるデータ収集・分析）

支援期間

- 支援期間：2025年3月～2025年9月

参加人数

- 支援メンバー：NECグループ社員6名

【事例5】音楽を活用したセルフケアサービスを提供する社会起業家 Estlaughtiveの事業戦略策定支援

支援メンバーの声（NEC）

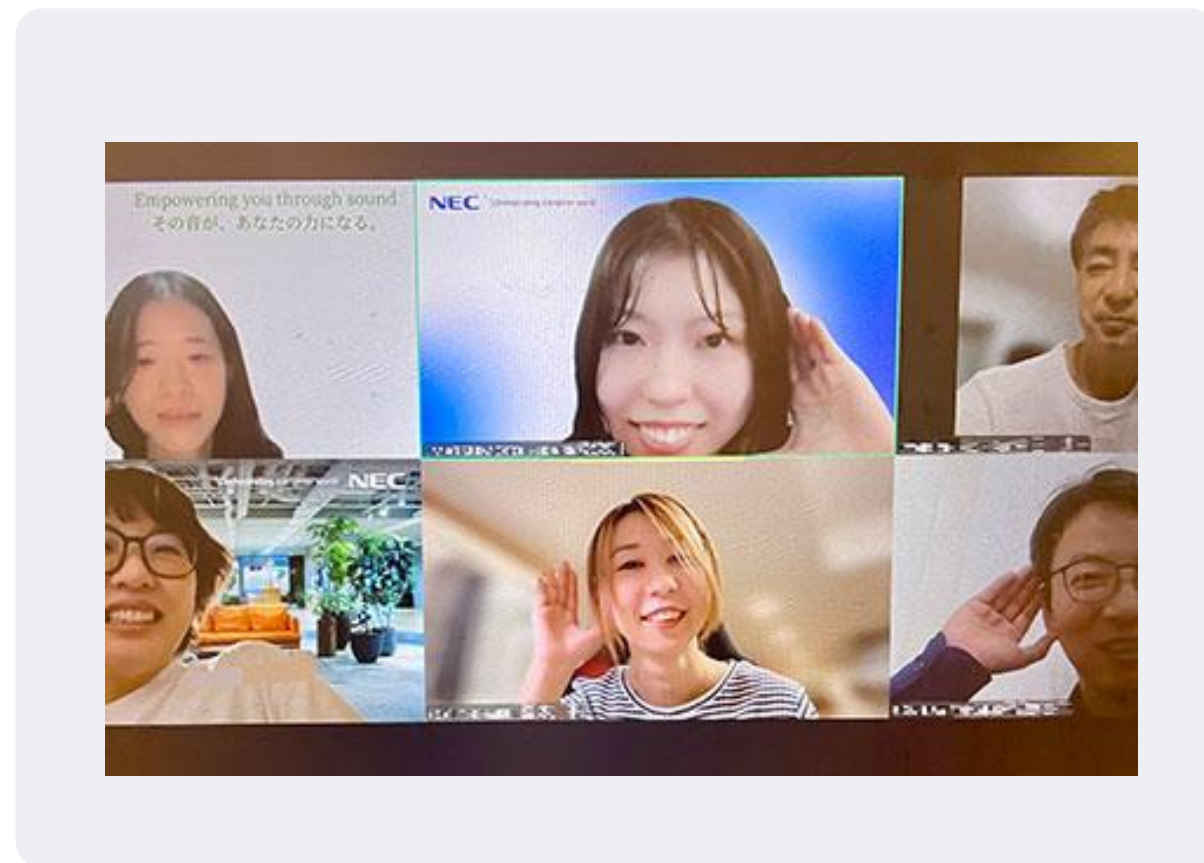
- 初めてのプロボノを通じて学びや気づきが大きく、過去の研究や経験を活かした実感とともにやりがいを感じた。
- 起業家の視点や思考に刺激を受けるとともに、自身の挑戦意欲が高まった。
- NEC社内ネットワークを活かしたモニタ募集・アンケート収集により、少しの声かけでも多様な意見が集まり、リーチ力の高さを実感できる成果を得られた。

支援先団体の声（Estlaughtive）

- ユーザー評価やアンケートデータが蓄積され、今後の検討材料が得られた。
- サービスの価値を言語化・可視化してもらえたことで、改めて自分たちの目指す方向がより明確になった。
- 厳しいフィードバックも伴走して受け止めてくれたことが非常に心強く、次の支援につながる発見も得られた。

関連リンク

- [音楽の力で心を繋ぐ～NECのプロボノと社会起業家が描く、音楽で自分を理解し整える未来～：記事紹介 | NEC](#)
- [音楽の可能性を、事業として磨き上げるープロボノとともに進むsounddefineの次のフェーズ: 記事紹介 | NEC](#)



NEC

\Orchestrating a brighter world